

TPP参加阻止！ 地域から再始動

農協・自治体と懇談—いわて食農ネット

◇いわて食農ネットは15～18日まで食と農・地域経済を守る要請行動を行いました。

TPPについて自治体や農協からは「農業振興と結びつかない」（九戸村・岩部茂村長）、「震災からの復興を何より先にすべきだ」（いわい東農協・佐藤紘一専務）、「漁業補助金が禁止となると復旧どころではない」（沿岸部の多くの首長）など、反対や懸念の声が多く出されました。

学習・宣伝など—支部&労連等

◇両磐労連は16日、TPP参加阻止などの要求をかけた一関市で決起集会を開催。農協労組いわい東・岩手南支部も参加。集会後市内をデモ行進しました。

◇16日、奥州市では国民大運動胆江地区実行委員会が地区集会を開催。TPP参加阻止などをめざし決起しました。

◇20日、二戸市内でTPPへの暴走をストップさせ食と農業・地域経済を守ろうと、二戸地域集会が開かれました。集会実行委員会が主催。岩手大学の横山英信教授がTPPで暮らしや経済がどうなるのか講演しました。新岩手農協の福田稔組合長がメッセージを寄せました。



行進するいわい東支部の仲間

交通手段なく不便、週2回の農協食材はありがたい

◇本部では岩手地域総合研究所と共同し、震災からの復旧・復興運動への寄与を目的に津波被災地の農協労働者状態調査（アンケート）を開始。この間、石川委員長ら本部役員と花巻支部菊池委員長が当該の職場を訪問、状況を聞きながら協力要請しました。

◇北海道農協労組より毛布の支援提供があり、花巻と新岩手の仲間に配布しました。

◇19日、陸前高田市内にて東北地本支援行動が行われ、農産物を配布し、うどんなどをいっしょに食べながら避難生活しているみなさんと交流。岩手からは石川委員長ら本部役員、女性部、5支部分会が参加しました。

息子が大船渡市農協で働いているという菅野さんは「やっと現実を受け入れることができるようになった」と言いながら当時のことを話してくれました。久しぶりの住人どうしの会話という女性は「足（交通手段）がないのが一番不便です。でも農協（食材）が週2回くるのでおかげとかは助かっています」「今日を楽しみにして待っていたよ。窓から外をのぞいていたら、人が集まってきて話し声が聞こえてきたときはうれしかった」と笑顔をうかべていました。

12・3シンポ「福島とともに原発の存在を問う」

※本部が全分会員を対象に召集する行事、12月はこの他に予定なしです。

役員だけのとりくみとせず、みんなに声かけ11月28日までに支部分会参加目標を上回る報告となるよう奮闘しましょう。